

2016(平成 28)年度

事業報告書

愛光幼稚園

はじめに (2016 年度の概況)

この一年を振り返ると、新学期が始まってすぐの熊本地震発生により私たちの生活は一変し、これまで常識だと思っていたことが、常識ではなくなりました。6年前の東北大震災は、この世の風景だろうかと驚嘆しテレビ画面を見つめていました。遠い熊本の地からは大変であろう方々に思いを馳せ、ただ祈ることしか出来ませんでした。東北の方の苦しみや悲しみを忘れ去ったわけではないけれど、月日の流れの中で当りに過ぎる毎日でした。そんな普通に過ごしていた夜、突然大揺れに揺れた最初の余震。

そして、2度目の本震といわれた震度7の揺れでした。この世の終わりと言えぬ恐怖を感じ、叫びとも言えない声が出たように覚えています。朝、当園の周りで会う人に、「大丈夫ですか」とお互いをいたわり合う言葉が飛び交い、地域みんながやさしく協力しあう体制ができあがっていくように感じました。職員間はグループラインで繋がっておりましたので、お互いの状況を即座に確認しあい、様々な情報を共有し合うことが出来ました。出勤が出来る職員が集まり、まずは園児の安否確認と保育園の休園、そして、保育の必要性も1軒ずつ電話で尋ねました。家自体に被害はないが暮らせる状況でなく避難を余儀なくされた方や毎日続く余震等により避難所暮らしや車中泊で心身のストレスは相当なものであったかと思われまします。このような状況の時こそ仕事をしなければならぬ方々の為、園開放をして心のケアと交流の場になりました。ご家庭でも園でも、しばらくは、子どもたちの安全を考慮した時に、どうしても室内に閉じこもりがちになってしまうのは仕方のないことでした。

キリスト教保育連盟や教会関係や荒尾の同法人の施設からすぐに救援物資が届きました。ありがとうございました。慌ただしい中での保育が余儀なくされました。ご家庭には時間帯や育休中等の条件付き保育となり、弁当持参をお願いしました。給食も再開ができました。子どもの安全と安心して生活できる環境を作ることを心がけ、保育を行ってきました。子どもや保護者や保育者に励まし勇気づけられるよう復興支援として、動物であったり、音楽であったり様々な方が来園されました。安心できるよう保育を心がけてきました。また、全国の皆さまから送られてきた支援金や義援金、支援物資、また、励ましのメッセージなど本当に有り難く感謝でした。

1、施設名 愛光幼稚園

2、種別 保育所

3、定員 90名

4、園長名 三島良子

5、職員 常勤 17名・非常勤 9名

6、28年度 児童の動向

年齢	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
0才児	7	10	10	11	14	14	14	14	14	14	14	14
1才児	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
2才児	16	17	17	17	17	17	17	16	16	16	16	17
3才児	17	16	16	16	15	15	15	15	16	16	16	16
4才児	18	18	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
5才児	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
合計	92	95	94	95	97	97	97	96	97	97	97	98

7、事業内容

モード・パウラス先生の提唱された、キリストの教え「謙遜・献身・愛」にたちキリスト教保育の年主題「平和をともに」を基に、すべての子どもにとって最もふさわしい生活の場となり、親(保護者)への支援を大切にして総合的保育に対する専門性を発揮して、安全面から各クラス複数の保育士となりました。保育者が質の高い保育を提供できるように特に努力した一年でもありました。

今回の地震を通して、日頃から地震や天災に対する防災訓練やその備えがいかに大切かを強く思いました。「地震が保育中でなくてよかった」と思うと同時に今まで避難訓練をやっていましたが、保育者と確認したことは、今までの避難訓練は現実的ではなかったということです。たまたま保育中でなかったことが幸いしたが、園長として自分の体感で判断し、どう行動するかを的確に出す必要性を強く感じました。園児たちの心の傷を最小限度に止めることが出来たように思っております。まず保育者が「どう対処するかをしっかりと確認し合い、真剣に避難訓練をしなくてはいけないこと」対処法を日頃から確認しておくことの必要を感じました。

今回の地震で失ったものもありましたが、得たものもたくさんありました。人と人との「絆」と「つながり」それから与えられる人の温もりがいかに重要であるかを改めて学ばされました。保育者はこのような中でも、特に「愛着関係」や「自己肯定感」を育てることが大切でした。

また、特別支援が必要な子どもについては、5歳児3名4歳児2名1歳児2名が障害児保育としての補助金を受けました。

保育士・心理士・保健師・園長とのケース会議を行い一人ひとり丁寧に関わりきめ細やかな対応に心がけました。虐待ケースもありましたが、関係機関(中央区役所・小学校・児童相談所・保健師・民生児童委員・法人内施設)と連携して見守り、顔の見える関係づくりをして円滑に解決できました。

地域に根ざし、笑顔があふれる愛されることで信頼される保育園となるよう運営させて頂きました。

8、一時保育自主事業

1 1月から3月まで 2歳児で育児休業のため一時保育を1名が利用した。

9、家庭や地域社会との連携等について

1) 園と家庭との連絡を密にするために、年度当初に年間保育計画や事業計画を配布し、年報として「ぶらんこ」、毎月の「愛光だより」、毎週の「週報愛光」を発行し、保育や行事に対する各家庭の理解と協力を求めると共に、個々の子どもの様子については必要に応じて連絡帳に記入し、登降園の際(送迎時の対応として)に保護者と直接話し合うよう努めた。感染症や保健衛生・危機管理等に関する情報等を随時提供した。

また、出来るだけ保育参観・発表会や運動会・敬老のつどい・クリスマス等の行事を実施して、園と家庭が連携して子育てにあたるようにした。

2) 地域の高齢者と園児の交流事業も年4回実施し、高齢者への思いやりの気持ちを培うようにした。

また、園開放や校区の子育てネットワークの会を通して、地域の子育て支援にも協力した。今年度から4町内のいきいきサロンも継続し、保育園が地域に貢献できる拠点となり園児との交流を行った。

3) 地域の異年齢児との交流事業も愛光まつりや運動会・ふれあい広場・夏祭り・毎週の教会学校等を通じて交流を深めた。

4) 小学校との連携

校区の 4 つの保育園の子どもたちと一緒に小学校の学校行事や交流会へ積極的に参加した。

◎ 地域活動事業

① 子育て支援事業(招待行事)=園主催

7月7日 七夕の集い

3月3日ひなまつり会

② 子育てマップ会への参加=校区社協主催

③ 地域への子育ての集い

校区子育ての集い 6月25日 「笑いヨガ」

親子ふれあい広場 11月5日ベビーマッサージ・親子わらべうた・手作りおもちや等親子の集いであった。

④ 園開放 月～金 午前9:30～11:30 利用者は月に1人

⑤ 夏祭り 200名程度の参加者

⑥ 運動会 10月8日にフードパルで遠足を兼ねて開催した
卒園児も含め200名以上の参加があった。

⑦クリスマス 保護者含め 150名以上の参加となる。

⑧教会学校 こどもたちへの伝道となり、卒園児も対象にしている。
震災のため小学生出席はクリスマスの時だけであった

◎ 世代間交流事業

① フォレストお話し会 11/17に出かけ交流した。

② デイサービスぼぼろ慰問 11/7に園児16名とのふれあい交流した。

③ 慈愛園デイサービス訪問 2/20にひかり幼児園の園児とともに交流した。

④ 高齢者と園児のふれあい広場 (校区社協主催・熊本市の補助事業)
10/21 当園担当町内 2・4町内 参加者:高齢者 20名

⑤ 敬老の集い(園児祖父母) 9/1 祖父母47名参加

⑥ いきいきサロン 地域のひとり暮らしの高齢者との交流
7月7日 七夕の集い 22名 (校区社協2 自治会1 含む)
3月3日ひなまつり会 25名 (校区社協2 自治会1 含む)

10、保育活動の実践

子ども達ひとりひとりが自分を出しきって、園生活を楽しみ、自主性を育てるよう努力すると共に、個々の発達段階を理解して、保育者の愛情と経験・知性や技術がひとりひとりの子どもに充分に向けられるよう配慮しながら月々の保育計画を実践し展開した。

課 題	内 容	備 考
① 年間・月間・個人 カリキュラム指導 目標作成	年齢 個人 季節に応じた保育立案 作成保育実施 記録作成	・0歳～5歳
② 親子参加行事	親子のふれあい 周りとの関わり等を 深め、より豊かな体験や交わりを通し て安定した集団生活を楽しむ	運動会・夏祭り・ふれあい 広場・クリスマス・保育参 観・発表会
③ 宗教教育	神さまによってひとりひとは造られ 大切にされていることを通して自分と 同じく人を大切にすることを学ぶ	・合同礼拝は週1回(1歳～5 歳)
④ 絵本の貸し出し	絵本を通して親子との会話や関わりを 深め、心豊かな子育てをめざす。	

11、職員の研修について

神水教会牧師による聖書研究会や園内外の研修や研究会にも積極的に参加し、職員の資質の向上に努めた。

① 派遣研修

研 修 区 分	研 修 内 容	
法 人	慈愛園新任職員研修	管理者研修
キリスト教保育連盟	春期保育者研修会	危機管理研修会
	熊本地区秋季保育者研修会	九州部会主任研修
	熊本地区職員クリスマス	熊本地区園長会
ルーテル関係	るうてる法人連合会	心のケア全体研修会
熊本市公私合同研修	乳児保育研修会	障害児研修会
	子どもの人権研修会	人権虐待保育研修
	危機管理研修会	保育所入所事務説明会
	保健衛生研修会	保育所給食説明会
	園長主任研修会	保護者支援研修会
	小学校訪問研修	熊本市食育ネットワークの会
中央ブロック	園長研修	主任保育士研修
給食部会	調理師研修会	
	ネットワーク実務者会議	ブロック給食部会研修会
	給食部会全体研修会	給食説明会

熊本市保育園連盟関係	看護師研修	保育推進連盟研修会
	新任職員研修会	就学前人権研修
	保育園連盟ナイトセミナー	保育士全体研修会
	子育て支援研修会	乳児保育研修会
	リーダー研修会	部会連携研修会
	保育研究大会	保育要録研修
	主任保育士研修	県市合同女性部研修会
熊本県保育園連盟関係	九州私立保育園連盟中央研修	食育ネットワーク地域研修会
託麻原小学校関係	子育てネットワーク研修会	支えあいネットワークの会
	小学校接続研修会	幼小中連携研修会
	社協研修会	校区園長会
熊本県	幼保園長研修会	労務研修
	福祉サービス苦情解決研修会	
その他	キャリアパス研修	人権啓発セミナー

園長は、キリスト教保育連盟九州部会会計と熊本市保育園連盟広報委員会として励んだ

② 職員会

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日	9・20	10・24	8・28	13・18	23	14・27	4・25	8・29	7・20	14・17	7・15	22.25

② 園内研修報告

職員の資質向上となるよう積極的に行われた。

月 日	研 修 内 容
4月19日(火)	ケース研究 新入園児について ※熊本地震により延期
6月14日(火)	子どもに現れやすいストレス反応
7月29日(金)	虐待について(ネグレクト)
8月18日(木)	発達障がいについて(公私合同研修会報告)
10月18日(火)	感染症①『マイコプラズマ肺炎』 乳児の病気『乳糖不耐症』について
10月28日(金)	防犯について
11月14日(月)	事故防止委員会『園庭の安全』

11月29日(火)	感染症②『インフルエンザ』
12月20日(火)	ケース研究②『保護者支援』
1月20日(金)	園内研修⑥『防犯』について
2月21日(火)	感染症予防 嘔吐物の処理及び保育室・トイレの消毒の仕方について
3月25日(土)	事故防止委員会『園周辺の道路・園外保育で使用する公園』について

12、給食について

- 1) 給食は子どもの発育における重要な部分と位置づけ、栄養のバランス及び季節感のある給食を促すものとし実施した。
- 2) 2016年度食育計画通りに、媒体等を用いたり、毎日の給食、おやつ時の声掛け当番活動を進める事ができた。
- 3) 離乳食は月齢や一人ひとりの発達の様子に合わせて、給食職員・担任等が話し合っており、進めていくことができた。
- 4) 乳糖不耐症の子が数名出たので、その対応として医師から記入してもらった指示書の作成やノンラクトミルクでの対応を行っていった。
- 5) 未満児は今までのスプーンの形状が使いにくかったため、新しい使いやすい形状のものを購入する検討をしている。
- 6) 野菜を栽培し、収穫したものをクッキングで使うという流れで行っているが、栽培が上手くいかずに計画を変更せざるを得ない事もあった。
種まき、苗植えの時期や栽培の仕方など、もっとしっかりと勉強しなければと反省させられた。
- 7) 4月の地震で給食室が使用できず、軽食を持参してもらう日が数日あったが、早いライフラインの復旧により、給食を再開することができた。使用できない機器や余震もある中、職員皆で協力し合いながら火元の安全や二次災害を起こさないよう努め、新たにマニュアルを改訂した。

13、安全指導について

- 1) 年間計画を作成し、火災・地震などを想定した避難訓練を毎月実施した。その都度反省などを記録に残し会議などでも情報共有していった。
- 2) 熊本地震発生の影響でライフラインが整わず、休園を余儀なくされた期間があった

が、職員の体制を整え、安全面に十分配慮した上で園内の一部を開放する。保護者同伴での利用を義務づけ、利用者の記録も残している。

- 3)保育中に震度4以上の地震が発生したことを想定し、お迎えの対応訓練を保護者の協力のもと実施。引き渡しカードを作成したが、対応の仕方が曖昧な部分やマニュアルなど職員間での周知が不十分なところがあったため今回の反省点や気付きを活かし次年度も実施する予定。
- 4)防犯（不審者侵入）訓練を実施した際のアナウンス・誘導方法など新たにマニュアル化したことでスムーズに行うことができた。
- 5)園庭の門の開閉が簡単にでき、不審者の侵入が容易であるなど安全上問題があったため、新しい門を設置することを検討した。
- 6)下駄箱前のドアの開閉時間について話し合い、安全上午睡時間は鍵を閉め来客やお迎えなどは事務所側玄関からの出入りのみとした。

14、保健衛生について

健康管理の実施状況

種 目	状 況
① 身体測定	毎 月 0 歳 ～ 5 歳 全 員
② 内科健診	嘱託医 すどう・きたの医院 須藤先生
	実施日・・・5/17. 5/18.10/12.10/18 全 員 異 常 な し
	当 日 受 診 で き な か っ た 園 児 は 他 の 日 に 受 診 完 了
③ 蟻虫検査	6/20 全 員 異 常 な し。
④ 歯科検診	嘱託医 木村歯科クリニック 木村院長 検診日6/3
	当 日 受 診 で き な か っ た 園 児 は 他 の 日 に 受 診 完 了
⑤ 口腔衛生	開始より 7年目熊本市中央保健福祉センターの指導
フッ素洗口	対象児・・・4歳児・5歳児 月～金 毎日
⑥ その他	職員 年1回健康診断 毎月腸内細菌検査 ・調理関係者（1月 ノロウイルス含む） ・0歳児に関わる保育者

- 1) 厚生労働省の保育所ガイドラインに沿って園児の感染症に対応した。感染症と診断された場合、登園できる健康状態になって医師に登園許可証を書いてもらい、感染拡大を防いだ。
- 2) 与薬の場合は保護者が与薬依頼書に薬の詳細を記入し、薬の袋にも記名をし、直接

2016年度 活動報告

愛光幼稚園

月	日	行 事	付 記
4 月	1	建物点検日	園内外を点検し点検報告を行う (毎月1日定例)
	9	入園・進級式	新入園児 9名を迎える 園児 92名でスタートする
		新年度説明会・クラス懇談	全保護者対象に重要事項説明をする
	11	第三者委員会	第三者委員の2名に園の状況を報告し助言を頂く
	13	体育教室始まり	(すみれ・ひかり組) 毎週水曜日
	14・16	熊本地震	熊本地震により18・19・20・21日休園
	23・24	園開放	通常保育に戻る前に園開放をして弁当持参で親子や園児の交流をすることでこころのケアになればと思い実施する 22日は9組 23日は12組
25	通常保育	余震が続くため、生活空間を5月14日までは2階までとする	
5 月	11	音楽教室始まり	3歳児ゆり組(毎週水曜日)
	16	園児引き渡し シュミレーション	災害に際して保育園迎えの時にカードに記入し園児を保護者へ渡す訓練となる
	17・18	健康診断	須藤先生(園医)による内科健診をする
	19	誕生会	震災のため4.5月合同誕生会 毎月定例行事 第三木曜日
	20	交通安全教室	熊本市生活安全課より指導していただく、人形を使った交通安全のルールを学ぶ (ゆり・すみれ・ひかり組参加)
	24	避難訓練	(毎月第四火曜日定例)
	25	教会学校始まり(毎週水曜日)	ひかり組16名と小学生
6 月	3	歯科検診	園医による歯科検診と紙芝居
	4	第一回愛光会役員会	愛光会保護者役員20名参加
	10	ひかり組クッキング	ピザ作り
	13	花の日礼拝・慰問	礼拝後 東水前寺交番などへ花束にカードを添えて訪問する
	17	すみれ組クッキング	焼きそば作り
	25	校区子育ての集い	校区社協主催で子育てひろばを開催。「笑いヨガ」に40名の参加と土曜保育の園児20名も加わる

7月	5	保育参観	各クラス保育参観 育児講座 育児講座 「being の大切さ」 講師 角本 浩 牧師 11 名参加
	6	プール開き	事故のないようプールを囲んで礼拝する
	7	七夕のつどい	未就園児5名を招いて七夕の飾りを囲んで集まりをする
	7	いきいきサロン	校区 4 町内の高齢者 22 名の集まり
	15	すみれ・ひかり組クッキング	夏野菜カレー作り
	23	愛光まつり	夏の夕べにさかなつりコーナー、輪投げなどを家族と楽しむ
	26-29	すみれ・ひかり組プール教室	すみれ・ひかり組 34 名参加
	27	ゆり・すみれ組クラス懇談	ゆり組保護者 7 名と担任が懇談する すみれ組保護者 13 名と担任が懇談する
8月	1	職場体験	熊本高校生 3 名と過ごす。
	1	ひかり組クラス懇談	ひかり組保護者 10 名と担任が懇談する
	4	現場説明会	復旧工事関連
	10	復旧工事入札	復旧工事関連
	2	ばら組クラス懇談	ばら組保護者 9 名と担任が懇談する
	26-27	お泊り保育(ひかり組)	ひかり組 16 名参加、金魚と鯉の郷公園に出かけた後、保育園でお泊りをする
9月	1	敬老の日のつどい	園児祖父母 47 名を招き、交流した後、茶話会をする
	1	プール納め	事故もなく過ごせたことを感謝し礼拝する。
	2	ゆり組クッキング	クッキーの型抜き
	3	第二回愛光会役員会	愛光保護者役員会でふれあい広場の話合い
	7	第三者委員会	第三者委員の 2 名に園の状況を報告し助言を頂く
	14-16	白川中学生職場体験	白川中学生 3 名のナイストライ
	16	(ふれあい動物園) 復興支援	熊本市動植物園より 12 名の職員と動物
	21	広域避難訓練	地震後の避難訓練での行先を三角公園となる
	8	運動会	食品交流会館フードパルにて園児 100 名と職員 21 名

10 月	12・18	健康診断	園医による内科健診をする
	21	校区高齢者と園児の ふれあい広場	校区の4つの保育園児と高齢者の方との交流をする
	24	芋掘り遠足	貸切バスで広安愛児園へ行き。いもほりを楽しむ(3歳児以上) 45名と職員 7名
	26	すみれ・ひかり組クッキング	いきなり団子づくり
	28	チューバ演奏会(復興支援)	チューバの演奏をひかり幼稚園の年長と合同で聴く
	1	立田山散策(ひかり組)	ひかり組16名でJRに乗り立田口で降りて立田山まで散策
11 月	5	ふれあいひろば	ベビーマッサージ・わらべうたあそび・親子体操等楽しい親子の集いにあそぼうカーも加わり楽しむ
	4	ボランティア清掃活動の日	三角公園を清掃奉仕する
	5	ふれあいひろば	ベビーマッサージ・わらべうたあそび・親子体操等楽しい親子の集い。
	7	ディーサービスぼぼろ慰問	ディーサービスぼぼろにてひかり組 16名参加
	9	木のおはなし会	「ペペペらん」さんの読み聞かせをすみれ・ひかり組が聞く
	14	幼児祝福礼拝礼拝	角本牧師より祝福をいただく
	15	感謝祭礼拝	家庭より果物・野菜を持ち寄り感謝の礼拝をする
	15	感謝祭慰問と 防災センター見学	果物・野菜にカードを添えて、消防署等を慰問。防災センターで台風や火災の実体験を、すみれ・ひかり組 29名が参加する
	16	もも組・ひかり組クラス懇談	もも組保護者 12名と担任が懇談する ひかり組保護者7名と担任が懇談する
	17	ボランティア清掃活動の日	下油田公園を清掃奉仕する
	17	フォレスト交流会(ひかり組)	老健施設フォレストにてひかり組 15名参加
12 月	29	第三者委員会	第三者委員の2名に園の状況を報告し助言を頂く
	30	防犯訓練	不審者を発見し伝達訓練とさすまたの模擬訓練
	3	第三回愛光会役員会	愛光保護者役員会の反省会
	7	教会学校クリスマス	角本牧師を迎えて、礼拝をする
	17	園クリスマス	神水教会の角本牧師を迎えて、礼拝と祝会をする
17	同窓会クリスマス	小学生36名旧職員3名と一緒にクッキング(ホットケーキ)をする	
19	復興支援	御船町マスコットキャラクターふねまる君来園する	

	26	すみれ組クッキング	鏡餅作り
	27	ひかり組クッキング	お雑煮作り
1月	11	新年礼拝	全職員と全園児一緒に新年のあいさつをして、礼拝を守る
	25	ひかり組スケート教室	ひかり組10名参加、アスパにてスケートを楽しむ
	20	ひかり組クラス懇談	ひかり組保護者10名と担任が懇談する
	26	総合防火訓練	中央消防署の立会いの下で実施する
2月	3	豆まき	未就園児を招いて豆まきをする
	6	愛光幼稚園創立記念礼拝	角本牧師と共に創立69周年記念礼拝を守る
	16	なかよし交流会	託麻原小より招きを受けてひかり組10名が参加
	18	発表会	子どもたちの歌や劇や合奏などの発表をみんなで楽しむ
		育児講座	発表会後に育児講座 『みんなで楽しくべろタッチ』 講師 『食べて話してつながろう中央区応援隊』 副隊長 濱 和子 氏
	20	神水子ども礼拝（ひかり組）	ひかり組12名は、ひかり幼稚園の年長児と共に、神水教会で礼拝をまもった後交流を深め食事をする
	20	慈愛園ディサービス慰問	神水教会で礼拝をまもった後、ディサービスに慰問。
21	ばら組クッキング	ポップコーン作り	
26	すみれ組クッキング	栽培した野菜入りホットケーキ作り	
3月	3	ひなまつり会	未就園児を招いてひなまつりを祝う 地域母子1組
	3	いきいきサロン	校区4町内の高齢者25名の集まり
	7	ひかり組天翔台登山	ひかり組16名がJRに乗って三角駅で降りた後、歩いて天翔台登山をした
	7	すみれ組クッキング	栽培した野菜を使って汁物作り
	11	第四回愛光会役員会 ・懇親会	愛光保護者役員会の会計報告終了後は、懇親会20名参加する。
	14	ひかり組クッキング	鰯の手開き・団子汁作り
	16	ゆり組クッキング	収穫した野菜でお好み焼き
	13	幼年消防クラブ修了式	ひかり組17名に中央消防署より幼年消防クラブ修了証書が手渡される
	22	おわかれ会	ひかり組17名で企画した集会后、3歳児以上でバイキング式で昼食を楽しむ
	25	卒園式	ひかり組17名が卒園する。